

### 第2回定例会

#### 正副議長・各委員会委員の改選

6月20日に正副議長の選挙が行われました。議長に十勝地域選出の大谷 亨 議員（自民党・道民会議）、副議長に江別市選出の勝部 賢志 議員（民進党・道民連合）が選出されました。

また、議会運営委員会委員、各常任・特別委員会委員の選任が行われました。

新しい各委員会の委員名簿はこちら

<http://www.gikai.pref.hokkaido.lg.jp/iinkai/index2.htm>



議長  
大谷 亨



副議長  
勝部 賢志

#### 定例会の概要

6月20日(火)から7月7日(金)までの18日間の会期で第2回定例会が開かれました。

今定例会では、知事から総額79億3900万円余の平成29年度補正予算案及びこれに関連する議案等33件が提案されるとともに、「特別委員会の定数及び調査事項に関する決議」が議決されました。

本会議においては、道内7空港の一括民間委託、JR北海道の路線見直し、災害対策、観光振興、農業、水産業・漁村振興推進計画、子どもの貧困対策など道政が直面する諸課題について、19人の議員が一般質問を行いました。

また、「平成29年度北海道一般会計補正予算(第1号)」などについて、予算特別委員会を設置し審査するとともに、各常任・特別委員会においては、付託された議案について、審査を行いました。

#### 主な審議日程 6月20日～7月7日

6月20日	本会議
6月22日	本会議(委員選任)
23日～28日	本会議(一般質問など)
30日～5日	予算特別委員会
7月6日	常任・特別委員会
7日	本会議

#### ● 定例会メモ

議長及び副議長の選挙は、議場を閉鎖して行います。閉鎖された場合は、議員であっても、閉鎖が解除されるまで議場からの入退場はできません。

#### 主な議決の状況

- 予算案 「平成29年度北海道一般会計補正予算(第1号)」など 2件
- 条例案 「北海道税条例等の一部を改正する条例案」など 8件
- 決議案 「特別委員会の定数及び調査事項に関する決議」
- 意見案 「EUとの経済連携協定に関する意見書」など 11件

#### 特に質問の多かった項目

- 空港民間委託 道内7空港の一括民間委託に向けた今後の取り組みや考え方 など
- J R 問題 JR北海道が公表した維持困難な路線への対応 など
- 災害対策 大雨や地震等の自然災害への対策 など
- 観光振興 宿泊税導入の検討状況や民泊新法の施行に向けた取り組み など
- 一次産業の振興 EPA交渉への対応、次期水産業・漁村振興推進計画策定の考え方 など
- 子どもの貧困 子どもの貧困問題に関する認識や対策 など

### キーワードをピックアップ!

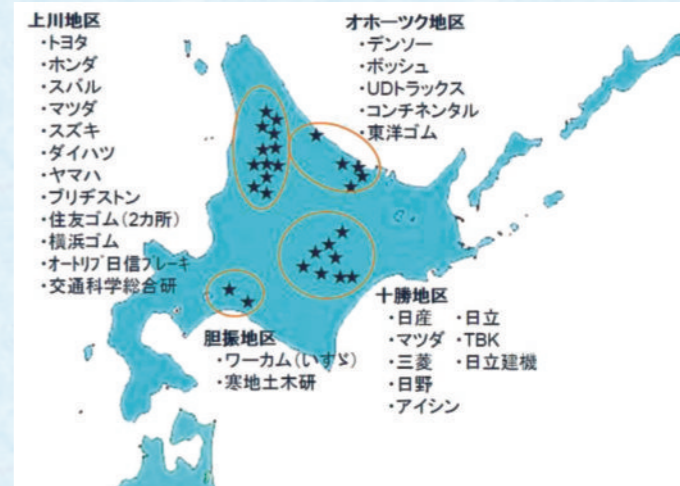
#### 自動走行



#### ☆自動走行について

国では交通事故死者の低減や交通渋滞の緩和による環境負荷低減、また、高齢者をはじめ、交通制約者の移動支援や地方の活性化等の課題に対する抜本的な解決策として、車の自動運転システムの開発計画を2017年4月に発表しました。

その計画の中では、2025年をめどに限定的な場面で運転をシステムが行い、運転が継続困難な場合でも運転手の操作無しで安全に停止する高度運転自動化を目指しています。



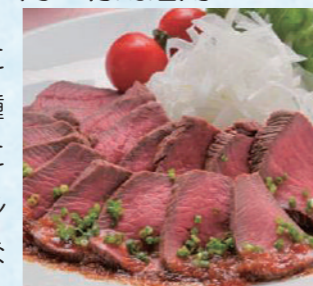
#### ☆北海道が持つポテンシャルと道の取組み

自動走行システム開発における、北海道が持つポテンシャルは次の4つが挙げられます。①全国唯一、28のテストコースが集積している。②広大な土地や寒冷な気候をいかし、多様な実証試験モードの提供が可能。③理系大学をはじめとした研究機関やIT企業などが集積し、産学官連携が行いやすい。④北海道は、自動走行を取り巻く社会課題に関する「課題先進県」であり、社会実験を行うモデルケースとなりうる。道としては、これらをいかし、北海道内での研究開発を円滑に行うことができるように、道内産学官での支援組織「北海道自動車安全技術検討会議」を設置し、自動走行の実証試験に関するワンストップ相談窓口を開設しています。また、積雪寒冷地に対応した実証試験場等の誘致に向けた取組みや、研究開発を行う企業等に対し公道実証試験モデルルートの提案を行っています。



#### エゾシカ肉の有効活用

エゾシカは、北海道のみに生息するニホンシカの亜種です。増えすぎたエゾシカにより、農作物への被害をはじめ、生態系への影響が深刻な問題となっています。



エゾシカ肉のロースト

道では、平成26年に制定した「北海道エゾシカ対策推進条例」に基づき、捕獲等による個体数の管理や、有効活用を進めています。生きたまま捕獲し食肉へと処理したエゾシカは、流通事業者等から高い評価を受けており、平成27年から28年にかけて、囲いわなで捕獲したエゾシカを食肉処理場まで生きたまま長距離輸送し、輸送による影響や経済性の検証を行うモデル事業を実施しました。また、安全・安心なエゾシカ肉の提供に向け、高度な衛生管理を行うエゾシカ肉処理施設を認証する制度を創設し、平成28年度に11施設を認証しました。



#### 食品ロス

「食品ロス」とは、食べることができるのに、捨てられてしまう食品をいいます。我が国の食品ロス(年間約621万トン)は、世界全体の食糧援助量の約2倍です。

世界の栄養不足人口は、約8億人で、栄養不良により発展途上国で命を落とす子どもの数は、年間5百万人とされています。道では、昨年11月から「おいしく残さず食べよう」をスローガンに「どさんこ愛(あい)食(しょく)食べ(た)べき(き)り(り)運動」に取り組んでいます。

北海道 食べ残し

検索

▶「キーワードをピックアップ!」や定例会に関する、意見、感想、質問をお寄せください。gikai.seisaku1@pref.hokkaido.lg.jp

